

令 7 年 4 月  
在デュッセルドルフ総

## 当館が認知した主な犯罪の事例（1月～3月）

以下は、当館が認知した特徴的な犯罪の手口です。

※ 特に断りがない場合、実際に邦人の方が被害に遭った（若しくは未遂）事例です。

スリ、置き引きの被害

### 【事例 1】

デュッセルドルフのアルトシュタット（旧市街地区）で大晦日から年明けにかけてバーで飲んでいました。出入口に近い席で飲んでいましたが、当時は新年を祝う人が多数出入りしており賑わっていた。気がついたら足下に置いていたパスポート入りの鞆がなくなっていた。

### 【事例 2】

デュッセルドルフ市内のシュタインシュトラーセ駅で地下鉄に乗ろうとエスカレーターを下りていたら、エスカレーターが突然止まった。しかたがないので歩いて下りていると、背負っていたリュックサックに何かかぶつかる感覚があった。地下鉄に乗ってから確認したところ、いつの間にチャックが明けられ、中に入れていた小物入れが盗まれていた。

※ 被害に遭われた方によれば、知人の方も「シュタインシュトラーセ駅」+「エスカレーターが突然止まる」というシチュエーションでスリ被害に遭ったとのこと。十分にご注意ください！

犯罪に巻き込まれた場合は、まずご自身の安全を確保した上で、その場から速やかに 110 番通報または最寄りの警察署に被害の届出を行ってください。

上記犯罪被害のほかにも、旅行者による単純な置き忘れ（駅、路上、お店）のご報告が当館に多数寄せられています。海外では意識がほかのことにとられ、注意力が散漫になりがちです。貴重品から意識を切らさないようにしてください。